

令和8年度

児童虐待への対応

児童虐待の防止は地域全体で取り組むべき重要な課題です。特に自治体では、虐待の早期発見や発生時の迅速な対応から虐待を受けた子どもの自立に向けたその家庭への支援等に至るまで切れ目のない対応が求められます。

この研修では、児童虐待の社会的背景や現状と課題を踏まえ、講義・事例を通じてデータ連携を含めた関係機関との連携や子ども、家庭、職員の支援を学び、児童虐待防止対策を強化・実践できる能力の向上を図ります。

研修のポイント

- 児童虐待の現状と課題、自治体に求められる役割について学ぶ。
- 関係機関との連携や支援体制について、講義・先進事例を通して具体的に学ぶ。
- 法的・臨床分野の専門家からの講義を通じて、当事者や現場対応のポイントを理解する。
- 児童虐待への対応をシミュレーションし、知識・情報を共有しながら、対応力の強化を図る。

開催要領

日 程

令和8年11月30日(月)～12月4日(金)(5日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

児童福祉に関係する市区町村職員(保健師・保育士・相談員の方も含む)

5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

50人募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※外泊はできません。

経 費

24,400円左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食4回、夕食4回)、資料代等を含みます。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和8年10月19日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途にメールで通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和8年

11月
30日(月)

13:00～

入寮受付

14:30～

開講・オリエンテーション

15:00～16:10

講義 児童虐待防止対策の動向と市区町村に期待される重要な役割

こども家庭庁支援局虐待防止対策課 事例分析指導専門官 笠 真由美 氏
最新の児童福祉法等の概要と制度改正の動向について解説いただくとともに、「こども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第22次報告)」を踏まえ、子育て家庭に最も身近な支援主体である市区町村に求められる役割や支援のあり方について学びます。

16:25～17:25

意見交換 質疑応答グループ討議

こども家庭庁支援局虐待防止対策課 事例分析指導専門官 笠 真由美 氏
各自治体の取組や抱えている課題等について、意見交換、情報共有をしていただきます。

17:30～17:50

演習オリエンテーション

18:00～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和8年

12月
1日(火)

9:25～14:10

講義 児童虐待の現状と課題 ～関係機関連携の重要性～

日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 久保 樹里 氏
自治体等におけるこれまでの児童虐待防止の取組を振り返りながら、児童虐待を取り巻く現状と課題について理解を深めます。また、重篤事例等から見えてくる課題を踏まえ、対応体制の整備や関係機関・庁内連携の重要性について学ぶとともに、自治体として優先的に取り組むべき視点についてお話しいたします。

14:25～15:35

事例紹介 児童虐待の早期発見・支援につなげるデータ連携の実践

大阪府和泉市こども・健康部子育て支援室 室長 鍛冶 みか 氏
児童虐待対策におけるデータ連携の取組について、複数部門の情報をどのように連携し、支援が必要な子どもや家庭の早期把握につなげているのかをご紹介します。また、関係機関との情報共有や支援体制の工夫、データ連携を進める上での課題についてもお話しいたします。

15:50～17:00

課題演習 (導入)グループ討議

関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科 教授 畠山 由佳子 氏
演習指導講師より、演習(課外学習)を進めていくうえでの考え方やポイントについてお話しいたします。

令和8年

12月
2日(水)

9:25～17:00

講義・演習 虐待の問題を抱える家族の支援について考える

～アセスメントを支援につなげる～(講義と事例を使った演習)

そだちと臨床研究会 代表 菅野 道英 氏
虐待の問題を抱える家族の模擬事例を用いて、家族のストレングス(強み)とリスクのバランスをとる在宅支援共通アセスメント・プランニングシートを活用し、グループでディスカッションをしながら支援を検討する方法を身につけます。

9:25～12:00

講義 臨床側面から考えるメンタルヘルスケア～親子支援と職員支援～

明治大学文学部 専任教授 加藤 尚子 氏
虐待の背景にある養育者の心理やトラウマ等への理解を深めるとともに、親子関係を見立てる臨床的視点について学びます。また、虐待対応に携わる支援者が直面しやすい二次受傷やバーンアウトの予防、実践的なセルフケアと組織的ケアについてもお話しいたします。

13:00～14:40

講義 児童虐待対応と重大ケース防止に必要な法的知識

認定NPO法人子ども支援センターつなぐ 代表理事／
飛田桂法律事務所 弁護士 飛田 桂 氏
児童虐待への適切な対応に必要な法的知識や基本的な視点について整理するとともに、虐待対応の実務において留意すべきポイント等についてお話しいたします。

14:55～17:00

課題演習 グループ討議

令和8年

12月
3日(木)

9:00～14:10

課題演習 発表・まとめ・ふりかえり

関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科 教授 畠山 由佳子 氏
児童虐待への対応における課題について、グループごとに討議した結果を発表し、受講者全員で知識・情報を共有します。また、講師から講評をいただき、さらに理解を深めます。

14:10～14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和8年

12月
4日(金)